

川崎区区民会議集会

日 時 平成22年2月27日（土）午後2時
場 所 川崎区役所7階会議室
午後 2時 開 会

出席者（敬称略）

（1）委員 17人

魚津利興、荒井敬八、弾塚誠、藍原晃、猪熊俊夫、菊地弘毅、木島千栄、島田潤二、須山令子、田辺富夫、富田順人、長島亨、朴栄子、原田歩、星川孝宜、宮崎とみ子、吉野智佐雄

（2）参与 7人

岩崎善幸、小林貴美子、坂本茂、嶋崎嘉夫、浜田昌利、宮原春夫、杉山信雄

1 開 会

副委員長 これより川崎区区民会議集会を開催します。

〔区民会議委員及び参与紹介〕

副委員長 川崎区区民会議委員長魚津利興よりあいさつ申し上げます。

委員長 区民会議の目的は、参加と協働、地域の課題解決に取り組み、実施することです。

この区民会議も2期4年目を迎えて、この間、イメージアップ、子育て支援、地域防災、シニアパワー、今期は地域力・つながり部会、区民が取り組む環境エコ部会を立ち上げてきました。川崎区はお互いに顔もわかり、みんなで協力する、参加する土壌ができています。川崎区はお互いに顔もわかり、みんなで協力する、参加する土壌ができています。川崎区はお互いに顔もわかり、みんなで協力する、参加する土壌ができています。川崎区はお互いに顔もわかり、みんなで協力する、参加する土壌ができています。

本日の集会は、区民会議の活動を知っていただき、課題解決にご理解いただきたいという思いから企画しました。後ほど意見をいただく場を設けていますので、よろしくお願ひします。

2 取り組み報告と意見交換

（1）川崎区区民会議の概要説明

副委員長 区民会議の役割とこれまでの経過について説明します。

〔パワーポイント〕

川崎区区民会議の目的です。平成17年4月1日から施行した川崎市自治基本条例第5

条に市民の情報の共有、参加、協働とあり、第22条、区民会議に区民で構成される会議を設け、参加と協働で地域の課題解決を目的として調査審議をする場を作ろうというものです。

平成18年4月1日に自治基本条例に基づき川崎市区民会議条例が施行され、第1条に暮らしやすい地域社会の形成に資するとあり、自分たちのまちは、自分たちで地域課題を解決していこうという市民自治の基本精神に基づくものです。

川崎区区民会議要綱は、7区が独自に必要なもの、緊急度の高いもの、区民ニーズに基づいて作っています。

第1期、第2期では「区の魅力を高めよう」、「地域で防災に取り組もう」、「環境エコ活動を広げよう」、「地域で子育てを支援しよう」、「地域活動への参加を促そう」、「住民同士のつながりを強めよう」という具体的な課題を取り上げ活動してきました。

課題解決の取り組みですが、区民会議が地域の課題解決に向けた調査・審議し、区民の参加と協働で地域課題の解決に向けた取り組みを実施します。取り組みは、区民、区民と行政の協働、行政それぞれが主体となって実施し、さまざまな地域課題を解決していきます。

平成18年7月1日から平成20年6月30日までを第1期としまして、地域の潜在的な課題は何か区民にアンケートをとりました。その中で、区のイメージアップを図るためにはどうしたらいいのか、地域子育ての支援、地域コミュニティの充実（地域防災、シニア世代の地域参加）の課題に取り組みました。全体会議7回、区民会議集会2回、専門部会（「イメージアップ」「子育て支援」「シニアパワー」「地域防災」）合計8回を持ちました。

第2期は平成20年7月1日から本年3月31日までです。第2期目は「手をつなごう、地域のつながり」、「地球環境とエコ」という2つのテーマに絞りました。全体会議6回、区民会議集会1回、専門部会（「地域力・つながり」「区民が取り組む環境エコ」「課題解決の実行性を高める」）合計20回を持ちました。

これから各部会の部会長からそれぞれの実績を紹介します。その後意見交換をしていきます。また、今後の区民会議で取り上げてほしい地域の課題はどこにあるのか、区民会議の知名度を上げるにはということも意見交換していきます。

（2）地域力・つながり部会の取り組み報告

副委員長 区民会議の取り組み状況について、まず地域力・つながり部会から報告していただきます。

部会長 地域力・つながり部会の報告をします。

〔部会委員紹介〕

部会長 地域力・つながり部会というネーミングは、新しい住民、古くから住んでいる方、子どもたちや高齢者、外国人や障害者が手をつないで一つにまとめられたらいいな、川崎区内は知り合いが多いまちであってほしいな、というところからつけました。

〔パワーポイント〕

「人づくり、世代のつながり」「防災訓練」「外国人市民」の3つの課題に対して7つの解決策を考えました。

まず「スポーツを通じた交流の実施」では、見ず知らずの人との出会いの場を築くにはスポーツがよいのではないかとということで、誰もができる軽スポーツとして「地域へのカラーリングの普及」をうたっています。カラーリングの用具を3セット購入していただき、川崎市立体育館、田島支所、大師支所に1つずつ置いて貸し出しをしています。体育館では、体育指導委員の協力を得て、昨年7月以来、計6回の体験教室を開催しました。子どもから高齢者まで、だれでもが参加することができ、雨の日でもできます。

次は「シニア世代の地域活動参加促進ツアーの開催」です。キーワードはシニア世代です。定年を迎えて仕事を離れた後、何かしたい人たちの受け皿になることができないかと、区民団体による活動紹介を行いました。中でも「かわさき再発見！旧東海道川崎宿ウォーキングツアー」は、地域の魅力を再発見し、興味を持って地域活動に参加していただけないかと、昨年11月20日に実施しました。参加者は39名で、そのうち今まで地域活動を何もしていない方が3割いました。

次は「地域の縁側の支援」です。区の地域福祉計画のシンボル事業として、平成16年度にモデル事業として大師地区で始まりましたが、現在、13カ所で行っています。縁側事業としていろいろな活動をしてはいますが、ご近所の集まりなので信頼関係が大切であり、住民同士ならではの活動や交流を進めています。行政からの財政的な支援は今まではありませんでしたが、22年度については予算要求をしています。今後も新規の立ち上げ支援や活動拡大に向けた支援活動をしていくことになっています。

次は「防災訓練への外国人市民や障害者などの参加促進」です。外国人市民や障害者が従来の防災訓練に参加しているかどうかという視点から、そういう方々にも広くPRして参加していただくという趣旨です。大島地区連合町内会の協力を得て昨年11月29日、向小学校で行いました。当日は外国語での案内表示もしていただき、外国人は通訳ボランティアも含めて20名ぐらい参加しました。その結果、災害が実際に起きたとき、どのような問題が発生するのか、など今後検討を要する課題が出てきました。

次は「外国人市民向けメルマガの配信」です。21年3月末現在で、川崎市には3万2000人余りが外国人登録をしており、川崎区は約1万2000人ほどで、20人に1人が外国人の地域であることを認識してこの課題を取り上げました。日本語がわからない、もしくはは

余り理解できない方々に対して、英語、中国語、ポルトガル語、スペイン語、やさしい日本語の5カ国語で、コミュニケーション・ボランティアという団体に委託して、行政情報、地域情報などを週1回程度配信しています。登録は先月末現在で115名です。昨年の7月1日から実施しています。

最後は「外国人市民向け広報の充実、強化」です。外国人市民向けの情報提供の1つとして、昨年7月1日に川崎区のホームページを改修しました。英語、中国語、韓国・朝鮮語、ポルトガル語、スペイン語、タガログ語の6カ国語で表示しています。翻訳の過程を踏まなければいけないので手数はかかりますが、今後も地域に住む外国人区民に対して、各種の行政情報の提供をしていただきたいと思います。

パワーポイントにはありませんでしたが、防災訓練の解決策として「東扇島東公園防災施設の視察」があります。3月下旬に小田栄2丁目町内会の方々が東公園を視察する予定になっています。

区民会議と協働型事業を推進していただいた部会委員からも簡単に報告をいただきたいと思います。最初に防災関係でお話をいただきます。

委員 地域力・つながり部会で防災訓練ができないかと相談を受けたので、大島地区連合町内会で1年置きにやっている防災訓練で試みることにしました。外国人市民、身体障害者の方々を対象にして、どういうふうに防災訓練をやったらいいのか。5カ国語で案内を作って各町内の掲示板に張りましたが、外国人に向小学校で防災訓練をやることを伝えるのが難しかったと思っています。

一緒にスポーツやイベントをやって、外国人の皆さんにそのまちなじんでいただくことが一番良いのかといつも思っています。自分が良い人をつくっていかないと良いまちはできません。良いまちができれば地域に外国人の方々も自然に入ってきます。

部会長 シニア世代の方向けに旧東海道川崎宿ウォーキングツアーの報告をお願いします。

委員 高齢者を中心にシニアの方々に地域活動に積極的に参加していただくきっかけづくりとしてウォーキングツアーを企画し、我々NPOが実行部隊として手伝ってほしいという話がありました。機会があれば、地域活動に参加したいというシニアの方も大変大勢いると痛感しました。

こういう話が出たときにガイド団体に相談したら、区民会議の趣旨は大変結構ではないかと、延べ50名弱の人間が積極的に参加して手伝いました。また、旧東海道の沿線の方々が区民会議の目的に大変賛同して協力していただきました。

参加者の一般的な感想は、川崎にもこんな立派なものがある、他都市に対して自慢で

きるものもある、これからこういう機会があったらぜひ参加したいという方が90%ぐらいで、所期の目的は達したという感じを受けました。川崎はこれからまだまだ伸びる区だと思っています。

部会長 最後に、外国人に対しての取り組み報告をお願いします。

委員 外国から来て日本語のわからない方たちの苦労を見ていると、自分の親が苦労してきたことだとすごく感じて、日本語のできる外国人として何かお手伝いできないかといろいろやっています。その中で、区民会議で取り上げていただいたところを手伝わなければいけないと思ったので、メルマガ配信をやってみました。まだ115名の登録ですが、毎週区の情報が届いていくので、区の行事に参加していく外国人がふえていったらいいと思っています。

大島連合町内会の防災訓練に参加しましたが、広報をどうするかが一番の問題点でした。ことしはボランティアと合わせて20名の参加でしたが、初めて防災訓練に参加したので、どれもびっくりしていました。煙体験は何でもないと思うかもしれませんが、あんな怖い思いをするのかと実体験することだけでも大事なことで、大きな防災訓練に参加させてもらえたことは大事なことだと痛感しました。

外国人に丁寧な政策は、一緒に暮らしている日本語しかわからない者たちにもすごく丁寧で良いことであると、このことで経験することができました。

部会長 ほかの委員の方も一言ずつお話しいただきます。

委員 びっくりしたのは7つの解決策を選ぶのに相当時間数をかけたことです。果たして最後までできるのか不安さえ覚えましたが、このような形で仕上がったのは区民会議の力が大変大きかったと感じています。

委員 川崎区は、大師、田島、中央と3地区に分かれています。スポーツ、防災、防犯、環境の美化は共通した流れだろうと思います。

スポーツは、小田の多目的広場とか学校の運動場を借りて活動してきましたが、なかなか場所がとれず、限られた中でスポーツをするのは本当のスポーツのあり方かと体育指導委員会から話がありました。たまたま委員の人がカローリングはどうだろうということで、私はカローリングを提案しました。こういうものがぴったりと考えています。

防災、防犯については、私の地域では大きな医療機関があります。地域に治療体制が本当に整っていくのかどうかも、医療機関の方々と話を続けながら訓練をしています。

誤りのない情報を行政の力をかりながら共有していくことが大事であることを区民会

議を通して感じています。

委員 今期やったことも、いろいろな形で次期につなげていくものがたくさんあると思います。何が区民会議に求められているかが大きな課題になってくると思います。身近な部分を拾い上げて大きな区の中の課題として持っていく必要性はあると思います。区に住んでいる皆さんの思いを吸い上げて、また区に放出するのが区民会議の役割だと思っています。

(3) 区民が取り組む環境エコ部会の取り組み報告

副委員長 次に、区民が取り組む環境エコ部会の報告をお願いします。

部会長 区民一人一人が地域の身近な緑を増やす地域緑化に取り組むこと、地域や家庭での環境意識向上のための啓発教育をしようという2つに取り組むことにしました。具体的な解決策として7つの取り組みを実施することにしました。

[パワーポイント]

初めに緑のカーテンづくりです。大師支所、田島支所、建設センター、衛生研究所の緑化を海風の森で行いました。また、田島支所、大師支所、川崎区の窓口で200人にゴーヤーの種を配布しました。

緑のカーテンづくり会員という制度を設けたところ、37人の方の登録があり、会員に向けて「緑のカーテン通信」を発行しました。

また、6月頃から第3庁舎裏の公開広場にゴーヤーのトンネルを作り、環境エコ期間中の21年8月5日に「環境広場展」をやりました。宮前小学校とか西大島保育園に呼びかけ、60人ぐらいの児童が来てくれました。打ち水をしたり、ゴーヤーをその場でもぎながら子どもに配ったので、大変喜んでくれました。

第1期で、アメフトの関係で外国人の選手たちを花で歓迎しようと、たちばな通りや平和通りを花で飾る活動をやりました。それが成功したので第2期目もやりました。U-19のアメフトが川崎球場であったので、手づくりのプランターを50基づくり、3日間並べました。終わった後は、鋼管通り、大島本通りの商店街に移設しました。

環境意識の向上では、小学校にポスターづくりをお願いしました。藤崎、東小田、東大島3校で10枚ずつ優秀作品を選んでいただき、アゼリアの地下街に展示して、その中からポイ捨て禁止の1枚選び、夏の暑い時期、2～3カ月、町会の掲示板に張りました。

また、小学生に環境ということで、藤崎、向、渡田、川中島小学校4校に環境の企業を見学してもらい、その後、グリーンコンシューマーの方にグリーンコンシューマーになりなさいという30分間の講演をいただきました。

身近にできる環境エコでは、梓の会にグリーンコンシューマーの方に行っていて、無駄のない料理づくりとか地産地消、エコバッグとか、普段皆さんが既にやっていることのおさらいをやっていただきました。

報告が漏れていると思いますので、委員の方々からお願いします。

委員 今後、環境エコに関する取り組みが地域に広がっていくには、地域、企業、学校、役所が知恵を出し合い、さまざまな団体が協力しながら取り組んでいくことが非常に大切だと思います。そのためには大勢の方から区民会議の委員を選出していくことが必要だと思います。

環境先進企業見学は、これからを担う子どもたちに環境やエコのことを学ぶ機会を与えることが将来につながっていくことになると思います。

委員 私なりにやれることが何かないかと考え、その頃丁度ごみ問題が大きくなっていたので、子ども会にポスターを頼んで、ごみ集積所に張りました。その影響でごみ置き場が前よりも少し良くなったと感じています。

委員 小学校の校医と保育園の園医をやっています。今の時期では、薬物の乱用に気をつけようとか、たばこに気をつけようという話をやっています。今回も緑のカーテンの話地元小学校にして協力をいただきました。

委員 「環境意識向上ポスターの作成」は、各自治会、町会の掲示板に掲示して非常に成果がありました。お金のかからない宣伝になったと思います。できれば3校でなくて、今後、多くの小学校にお声かけして、大勢のお子さん、親御さんに関心を持っていただけたら、区民会議の宣伝にもなり、意識向上にもなるかと思います。

委員 まちづくりクラブは3月23日から川崎信用金庫本店で我々の活動を一部皆さんに見ていただくということで開催します。

環境エコは、起きてから寝るまでではなく、寝ている間も関係があります。テレビでは、お金さえ出せばエコをやっているという宣伝が行われていますが、区民会議では、区民の皆様が各地域、家庭で少しでもエコをやっていくのが目的だと思います。それを本当に実らせなければいけないと感じています。

委員 川崎区の臨海部は全国第1号のエコタウン地域の承認を受けた地域で、こちらにゼロ・エミッション工業団地というのがあります。エコの取り組みをいろいろな面でしています。今後、区民会議でエコツアーを募集し、エコについて学んでいけば、今後のス

トップになると思う部分もあります。

(4) 川崎区区民会議全体を通して会場との意見交換

副委員長 今までの川崎区区民会議の概要説明、それぞれの部会の取り組みの報告をしました。これらについて質問、要望を受けたいと思います。

区民 地域力・つながり部会でシニア世代が地域に参加するきっかけをつくろうという提案をしたと思います。老人クラブの会員が若干減っています。団塊の世代の皆さんたちが入れるように門戸は広がっていますが、うまくいきません。何か一緒にできる取り組みがあればと提案します。

副委員長 老人クラブ連合会として、活性化するために何か区民会議と連携することはないのかということですが、逆にお願ひしたいこともあるかと思ひます。

委員 私ども市民団体は、何もしないと数は減っていつてしまう感じは持っています。一緒に歴史散策でもしませんかというときにガイドさせていただくとかいろいろ協力できる機会もあるかと思ひます。

委員 少し前にNHK「ご近所の底力」のチーフプロデューサーの話をお聞く機会がありました。地域活動の担い手として、企業、若い人、学生が入ってこないと困っていますが、それは呼びかけていないから、会員が減っていくのは楽しくないからだと言っていました。活動を通して人をまとめようと思つたときの鉄則が3つあるそうです。会費を取らない、少々問題は置いておいて即動く、情報を共有することだそうです。

区民 地域教育会議では、子どもたちの意見を聞こうと公園の利用問題について調査しましたが、大人が考えつかないようないろいろな発想がたくさん出てきています。区民会議の皆さんは大変な議論をしていますが、若い方々の意見も聞く場がないように思ひます。若い新しい意見を聞くことも非常に必要ではないかと思ひます。

委員 念願の小田公園が再整備されますが、それに伴ひ区民の方々が集まって今盛んに活動しています。各小学校にアンケートを出して子どもの意見を聞くことも行つていますので、今の意見に添えるよう、これから発言していきたく思ひます。

副委員長 今後そういう方向にますます進めていこうと思つています。全員一致で異論はありません。

区民 スポーツに関して、川崎区発信でカローリングをぜひ進めていきたいと思っています。

小学校5年生の体力測定統計で、神奈川県は、男子47位、女子41位です。そういう意味でも、子どもたちの健康、体力育成のために努力していかなければいけないと思っています。皆様にもお願いしていきたいと思います。

そのためには、今の公園、学校施設を有効利用させていただきませんか。公園は野球もサッカーもだめです。小学校は施設開放していますが、子どもたちがそこでスポーツできる環境を整えてやってください。夜間照明をつけてくださいと教育委員会にもお話ししていますが、試験的につけたのは臨港中学校1校だけです。それもコインです。それが本当に子どもたちの体力育成、地域の活性化になりますか。夜間照明が無理なら防犯灯にしてください。

区民 子育て関係のグループを川崎区内でやっている代表ですが、よくこういう会議に呼ばれます。確かにどこに出ても、若い世代の方の意見を聞いていないとか、世代間交流がきちんとできていないと聞きます。私もそれを実際感じていて、どうにかしないとと思っています。今、川崎区内に新しいマンションができて、若い世代のご家族の方が来られることが多いですが、その人たちはとても受け身の方たちが多く、自分たちで何かを立ち上げることができていないと感じています。そういう立ち上げ支援ができるような仕組みづくりができていったら、区の中にもっと力を注げる活動になっていくのではないのでしょうか。それができてきた中で、いろいろな横のつながりや縦のつながりもできるような仕組みづくりを区民会議発案でやっていただけるとありがたいと思います。

区民 1つは、歴史ガイドの中で佐藤惣之助さんの名前が全然出てこなかったのは寂しいです。

2つ目は、来年二ヶ領用水が400年になりますが、泉田二君の碑が妙遠寺にある話も出てきません。佐藤惣之助さんの資料館を作る計画があるようですが、ぜひ力を入れていただきたいと思います。

最後に、富士見公園の話が全然出てきません。何とかしていただきたいと思います。

副委員長 佐藤惣之助さんの話が出てきましたが、これについてはいろいろなことを計画されていると聞いています。説明をいただきます。

委員 川崎宿案内は、佐藤惣之助、妙遠寺にある泉田二君の碑、小泉次大夫ご夫妻の学習は欠かさず、それも時間をとって行っています。いつでもじっくり案内します。

区長 富士見公園の問題は、総合企画局で今計画を立てている段階です。私も委員として参加していますので、区としてのいろいろな意見を言っていきたいと思っています。

副委員長 区民会議は区民会議の範囲ということでご了解をいただきたいと思います。参与の方に感想を聞きたいと思います。

参与 今までにない区民会議のあり方で大変よかったと思っています。市民の方たちと意見交換できる場を1年に1回とか2年に1回とか設けていただき、区民会議で全部受けとめるわけにはいかない内容もありますが、共通してやれることもあるのではないかとのお話もありました。また、若い人の意見をというのは、この条例が出る前から議会でも言ってきました。3期目の委員には若い人も入ってくるのではないかと期待している一人です。

2期4年間取り組みがすばらしい一つの形になってきたのではないかと思います。皆様方の意見と時間と手足をかけた取り組みができてきたと思います。次の3期目に期待して、議員もしっかりと応援していきたいと感じた今日の報告会です。

参与 私たちの日常の暮らし、一番身近なところを取り扱うのが区行政の仕事だと思えます。川崎区で生活を営む上において共通する課題を行政体が交通整理役を担っていただきながらテーマを絞り込み、それぞれの活動母体、団体の情報交差点役として区民会議が大きな存在意義を発揮いただく大事な時期をいよいよ迎えてきたと思います。

これから7区区民会議交流会が予定されていますが、その中を通じて、取り組むべき方向性、内容、暮らしに根差した川崎区の将来ビジョンについて、3期目以降、皆さんの大きなご尽力をいただきたいと思います。

報告書にまとめ切れなかったこういうポイントもぜひ聞いてほしいということもいっぱいあると思います。機会がありましたら、生きた皆さんの声をどんどんこれから議会に聞かせていただいて、一緒に解決できるよう取り組んでいきたいと思っています。

参与 多くの市民の皆さんに参加していただき、貴重な意見を述べていただいて、すごくよかったと思います。また、区民会議の委員の皆様には、本当に大変な努力をいただいていることがよくわかりまして、ありがたいと思っています。

私事ですが、去年、エコ部会の皆さんが緑のカーテンに取り組まれている話を家に帰って家族にしたら、うちも緑のカーテンをやろうとなりゴーヤーのカーテンづくりをやりました。ゴーヤーのことに熱中する家族の姿を見て、これがエコだと私も実感しました。市民が区民会議の活動に刺激されて、生き生きといろいろなことに取り組めるようになることを心から期待しています。

副委員長 大谷区長からも一言感想をいただきたいと思います。

区長 本日は長時間熱心なご討議をいただきましてお礼を申し上げます。

実効性を高めるプロジェクトから審議時間の確保、十分な議論をしていこうと提言がありました。若い人の意見ということで、区長推薦をという提言をいただき、その準備を進めています。第3期以降、今回いただく提言の定着に向けて努力していきたいと思っています。

副委員長 昨年11月、市政運営の基本的な考え方が発表され、区民会議のさらなる充実強化を図り、これまで議論されてきた内容を踏まえ、その成果を反映するなど、区の課題の解決に向けた取り組みを協働により進めてまいりますと締めていました。これから3期に向けて、ますます区の課題は区民会議からという意気込みで進めてまいりたいと思います。

4 閉 会

副委員長 最後に弾塚副委員長から閉会のごあいさつをいただきます。

副委員長 本日は、長時間にわたりご参加いただき、貴重なご意見をいただき本当にありがとうございます。本日いただいた意見については、4月からの第3期区民会議の調査・審議に生かされるようしっかり引き継いでいきたいと考えています。

川崎区区民会議では、今後も地域の課題解決に向け提案を行うとともに、住みよいまちづくりに向けた取り組みを続けていきますので、どうかお力添えをいただければと思います。

副委員長 3月23日火曜日6時半からこの会場で今年度最後の全体会議を行いますので、会場においでいただくことをお願いして、閉会します。

午後 4時9分 閉 会